

## これが若者の声だ！！PART5



これだけは主張したい！



- ・業績が回復しているのは現場の努力の結果。第二四半期決算でも黒字となったことから、それに見合った回答が必要だ！
- ・コロナ禍においても公共インフラとしての使命を果たしてきたのは、経営者ではなく現場第一線の私たち社員の努力の結果だ！会社は社員一人ひとりと真摯に向き合い、モチベーションの下がる希望していない異動などはすぐにやめるべき。
- ・コロナ前には戻らないと言うのであれば、いい加減コロナ前の決算との比較をやめるべき。
- ・会社の考えをネットニュースで知ることが増えてきている。決まったことには従えということか？
- ・会社幹部の不祥事があったが、現場との感覚のズレがすごい。現場は感染防止のため自粛を続けてきた。会社幹部も現場の頑張りに向き合い、自粛をするべきなのではないか？
- ・鉄道が好きで入社した人も多くいる中で、自分のキャリアプランにそぐわない異動や希望もしていない異動でやる気も起きない。私たちは会社のコマではない。
- ・第二四半期決算も黒字だった。利用者が戻っている実感もある。私たちは目の前の生活で精一杯という状況だし、その都度還元されなければ実感に乏しく、退職の理由にもつながっていく。年末手当を出せない理由を並べるのではなく、どのようにして私たちの努力に報いるのか真剣に考えるべきではないか。
- ・労働実感や生活実感からも、とうに我慢の限界は通り過ぎてている。私たちは賃金を求めて仕事をしている。欲しいのはやりがいではない。
- ・仕事が増えるだけで生活はよくなりならず、物価上昇で大変になる一方。コロナ禍でずっと我慢を強いられてきたのだから、社員に還元してほしい。

黒字を実現した私たちの苦労、努力に報いるには

# 満額回答しかありえない！

満額回答を勝ち取るために  
職場からたたかいをつくりだそう！！

